



10/23・30(火)

18:30～20:00

会場 市民体育館



初心者でも気軽に取り組めるリズムエクササイズ。日ごろの運動不足やストレス解消に、爽やかな音楽に合わせて踊ってスッキリしませんか。1日のみの参加も可能。講師は地域ウエルネス・ネット フィットネスインストラクター。申込不要、18:20 までに直接会場へ、無料。※必ず市民体育館の駐車場を使用してください。持ち物 上靴、外靴を入れる袋、汗拭きタオル、飲み物、動きやすい服装。

【詳細】保健センター ☎ 385-5252 FAX 385-8130

健康セミナー

～正しい手洗いとは？手洗いの深イ話～
世界手洗いの日にちなんだテーマで、どなたでも参加できます。お気軽にご参加ください。申込不要、直接会場へ。無料
講師 感染管理認定看護師 森山洋子
日時 10月16日(火) 11:00～11:45
会場 市立病院 2階講義室
【詳細】市立病院看護管理室 ☎ 382-5151

糖尿病教室

糖尿病の分かりやすいお話。どなたでも参加できます。お気軽にご参加ください。申込不要、直接会場へ。無料
日時 10月10日(水) 15:00～16:00
・糖尿病で足を失わないために(本間看護師)
・糖尿病の検査値の読み方(昆検査技師)
会場 市立病院 2階講義室
【詳細】市立病院栄養科 ☎ 382-5151

高齢者インフルエンザ予防接種

期間 10月15日(月)～12月28日(金)

ワクチンの供給状況により、期間開始直後の接種が難しい場合もあります。ワクチン接種時期については、接種を希望する医療機関にご相談ください。

対象 接種希望の市民で以下の①か②に該当する方。①接種当日 65歳以上の方。②接種当日 60～64歳で、心臓、腎臓、呼吸器またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能の障がいがある方(障害等級1級またはそれに準じる方)。

料金 1,150円(回数1回)

申込方法 各医療機関に直接申し込み。事前予約制。実施機関はお問い合わせください。

【詳細】保健センター管理係 ☎ 391-8036

子宮頸がん HPV 自己採取検査

子宮頸がんの原因となるHPV(ヒトパピローマウイルス)の感染を自分で調べる検査です。婦人科の受診に抵抗がある方や、仕事や育児で時間の都合がつかず、検診を受けられない方におすすめです。対象の方には個別に案内を送付します。

対象:①平成30年度子宮頸がん検診無料クーポン対象者のうち8月末で未利用の方。②平成4年、昭和64年、60年、56年生まれで、平成26年度以降、市の子宮頸がん検診未受診の方。

詳細は右のQRコードから江別市ホームページをご確認ください。



【詳細】保健センター ☎ 385-5252

休日・祝日当番病・医院(救急・急病)

【診療時間】内科・小児科 9:00～17:00/外科系 9:00～翌朝 9:00 (■印の医療機関は診療時間が異なります。)

※都合により変更される場合があります。新聞紙上または北海道救急医療情報案内センター ☎ 0120-20-8699、携帯電話からは 011-221-8699)、江別市消防本部 (☎ 382-5453)、江別医師会のホームページでご確認ください。

月/日	内科・小児科	外科系
10/7(日)	<input type="checkbox"/> 溪和会江別病院(内科のみ) 野幌代々木町 81-6 ☎ 382-1111 <input type="checkbox"/> よしなりこどもクリニック 上江別東町 44-17 ☎ 391-4470	<input type="checkbox"/> 溪和会江別病院 野幌代々木町 81-6 ☎ 382-1111
8(月・祝)	<input type="checkbox"/> 友愛記念病院(内科のみ) 新栄台 46-1 ☎ 383-4124 <input type="checkbox"/> 松尾こどもクリニック 高砂町 25-11 江別メディカルビル 3階 ☎ 384-8819	<input type="checkbox"/> 江別谷藤病院 幸町 22 ☎ 382-5111
14(日)	■平賀内科クリニック 野幌東町 26-26 ☎ 382-5989 (診療時間 8:30～17:00)	<input type="checkbox"/> 江別谷藤病院 幸町 22 ☎ 382-5111
21(日)	<input type="checkbox"/> 江別谷藤病院(内科のみ) 幸町 22 ☎ 382-5111 <input checked="" type="checkbox"/> 江別市立病院(小児科のみ) 若草町 6 ☎ 382-5151 (診療時間 8:30～17:00)	<input checked="" type="checkbox"/> 江別市立病院 若草町 6 ☎ 382-5151 (診療時間 8:30～翌朝 8:30)
28(日)	<input type="checkbox"/> 野幌病院(内科のみ) 野幌町 53 ☎ 382-3483 <input type="checkbox"/> おおぬま小児科 東野幌本町 7-5 セリオのつぼろ 2階 ☎ 385-6782	<input type="checkbox"/> 江別谷藤病院 幸町 22 ☎ 382-5111
11/3(土・祝)	<input type="checkbox"/> みはらしクリニック 元江別 890-15 ☎ 384-3184	<input type="checkbox"/> 溪和会江別病院 野幌代々木町 81-6 ☎ 382-1111
4(日)	<input type="checkbox"/> 溪和会江別病院(内科のみ) 野幌代々木町 81-6 ☎ 382-1111 <input type="checkbox"/> おおあさ鈴木ファミリークリニック 大麻扇町 3-4 ☎ 386-5303	<input type="checkbox"/> 溪和会江別病院 野幌代々木町 81-6 ☎ 382-1111

●産婦人科救急夜間相談 ☎ 622-3299 【さんぷきゅうきゅう】札幌市産婦人科救急電話相談(年間全日対応 19:00～翌朝 9:00)

●北海道小児救急電話相談(お子さんの急な病気やけが) ☎ 232-1599 または # 8000(年間全日対応 19:00～翌朝 8:00)

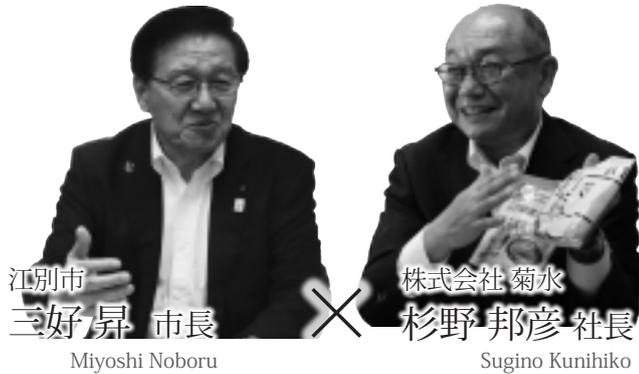
●江別市夜間急病センター ☎ 391-0022(錦町 14-5)内科・小児科(年中無休)診療時間 19:00～翌朝 7:00 受付時間 18:30～翌朝 6:30

第3回

株式会社 菊水



えべちゅんら〜めん、江別小麦めんなどの麺類食品の製造、販売をする株式会社 菊水の杉野邦彦社長に、「江別の食の魅力」をテーマにインタビューしました。



江別市
三好 昇 市長
Miyoshi Noboru

株式会社 菊水
杉野 邦彦 社長
Sugino Kunihiko



1. 製麺機のカット技術を説明する杉野社長(右) 2. 豊富な商品が棚に並べられています。3. えべちゅんら〜めんの麺は、菊水が持つ最高の技術で作られています。

子どもに江別の食の魅力を知ってほしい

杉野社長 当社は生麺の製造で道内トップのシェアを持っています。北海道でナンバーワンのラーメンメーカーが江別にあることはあまり知られておらず、よく驚かれます。下川町で創業後、札幌市に工場を造り、1973年に江別へ移転しました。江別は素晴らしい小麦「ハルユタカ」生産が日本一であり、農工商連携がしやすく、異業種交流が盛んなのが魅力です。大学、研究機関、行政も対応が素早く、小麦の生産者も先進的です。

そんな中、地元江別の良さを知ってもらいたいと10年以上前から小学生を対象に「小麦追跡授業」を行っています。小麦畑を見学し、製粉工場で小麦粉に、そして当社で麺に加工する工程を学ぶ。そして、自分で麺を作って食べるという一連の工程を学習という食育授業を通じて、身近な食の魅力を知ってもらいます。

ほかにも「えべちゅん」というキャラクターを活用した商品パッケージのデザインの募集など、多くの人が参加できる取り組みを積極的に行ってきました。今では、スーパーに買い物に来ていたお子さんが「買うのはえべちゅんら〜めんに決まってるでしょ!」と親にせがむほどの人気商品になりました。

三好市長 菊水さんは、地元江別を大切に、また地元を

愛されている企業だと感じます。来年創業70周年を迎えられるということですが、今後の展望はどうお考えですか?

地元の味を海外に届ける

杉野社長 これから人口減と高齢化がどんどん進みます。だんだん食べる量は少なくなるかもしれません。ですが、食べる楽しさや喜びといった価値を提供していくことによって、長く生き続ける企業になりたいです。

また、2008年にはシンガポールに出店している日本料理店「TAMPOPO」では、江別小麦めんを使ったラーメンが注目を集めました。現在は、海外からも多くの需要が生まれ、社内にも海外プロジェクトチームを立ち上げ、東アジアの市場調査をしています。今後は北海道のおいしいものを海外に送りだしていくことを、柱の一つにしたいです。

三好市長 地元企業の発展があつて、江別の発展につながります。これからも一緒に努力して発展していきたいですね。

企業情報 株式会社 菊水

本社所在地 工栄町19-6 **従業員数** 610名 (H30.9現在)
主な事業 江別小麦めん、寒干しラーメン、知床ざるそばなどの麺類と関連商品の製造、販売。
【詳細】 企業立地課 ☎ 381-1087
 TOP対談の詳細は市ホームページで公開中です。



ありがとうの思いを伝えよう 災害を通して感じたメッセージを募集します

「避難所や給水所で親切にしてくれた人へのお礼」、「声を掛けてくれた近所の方へのありがとう」、「身近な人へ伝えたい言葉」など、感謝のメッセージを募集します。そのほか、地震、台風を通して感じたこと、伝えたいこと、これから自分が取り組んでいきたいこと。また、今後の災害対応に関すること、防災のために知りたいことなども募集します。

応募方法 (10月12日(金)まで受け付けます)

フォームメール QRコードを読み取っていただくか、江別市ホームページのメッセージ募集ページからお送りください。

郵送・ファクス 〒067-8674 高砂町6 FAX 381-1149へお送りください。

広聴箱 各公民館の広聴箱に、メッセージ募集の用紙を設置しています。

※メッセージは、個人名や企業名が分からないようにして広報誌やホームページなどでご紹介させていただく場合があります。個別に回答はしていません。差し支えなければ、年齢やご職業なども記載をお願いします。

